

## 北海道の歴史文化発信事業実施業務 企画提案説明書

### 1 業務概要

#### (1) 委託業務名

北海道の歴史文化発信事業実施業務

#### (2) 業務内容

内容の詳細は、別紙「北海道の歴史文化発信事業実施業務企画提案指示書」を参照のこと。

#### (3) 委託期間

契約締結の日から令和2年（2020年）3月25日まで

#### (4) 発注者

北海道

### 2 企画提案しようとする者に必要な資格

(1) 単独法人又は複数の法人による連合体（以下「コンソーシアム」という。）であること。

(2) 単独法人及びコンソーシアムの構成員は、次の要件を全て満たしていること。

ア 道内に本社若しくは事業所等（本業務を実施するために設置する場合を含む。）を有する法人、又は特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）に基づく特定非営利活動法人であること。ただし、宗教活動や政治活動を主たる目的とする法人、暴力団又は暴力団員の統制下にある法人を除く。

イ 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項に規定する者でないこと。

ウ 地方自治法施行令第167条の4第2項の規定により競争入札への参加を排除されている者でないこと。

エ 北海道の競争入札参加資格者指名停止事務処理要領（平成4年9月11日付け局総第461号）第2第1項の規定による指名の停止を受けていないこと。また、指名停止を受けたが、既にその停止の期間を経過していること。

オ 暴力団関係事業者等ではないこと。また、暴力団関係事業者等であることにより、道が行う競争入札への参加を除外されていないこと。

カ 次に掲げる税を滞納している者でないこと。

(ア) 道税（個人の道税及び地方消費税を除く。以下同じ。）

(イ) 本社が所在する都府県の事業税（道税の納税義務がある場合を除く。）

(ウ) 消費税及び地方消費税

キ 次に掲げる届出の義務を履行していない者でないこと。（当該届出の義務がない場合を除く。）

(ア) 健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出

(イ) 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出

(ウ) 雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出

ク コンソーシアムの構成員が単独法人、法人以外の団体又は他のコンソーシアムの構成員として、このプロポーザルに参加する者でないこと。

### 3 企画提案の審査基準

企画提案は、次の項目を審査し、総合的に判断する。

#### (1) 実施体制・業務遂行能力

ア 業務を遂行する上で、必要な専門知識・技術を有し、十分な業務処理体制が整っており、過去の業務実績等から当該業務を遂行することが期待できるか。

イ 業務を効率的かつ効果的に実施できる全体スケジュールとなっており、経費の積算は、適正かつ効率的なものとなっているか。

## (2) 企画提案内容

### ア 業務実施の考え方

業務全体のコンセプトやターゲットが明確であり、北海道 150 年事業の理念や成果を次代に繋ぎ、全道各地域につなげる取組となっているか。

### イ 北海道の歴史文化の情報発信等

(ア) ウェブサイトは、先人の功績や関連施設（記念館、博物館、アイヌ文化等の発信施設等）、ゆかりの地などの情報を広く発信できる内容となっているか。

(イ) 各種メディア等を活用して、広く道内外の方々に、先人をキーワードとして、アイヌ文化をはじめとする本道の歴史・文化に対する関心を喚起する効果的な情報発信が期待できる内容となっているか。

### ウ 道内周遊を促進するインセンティブ企画の実施

(ア) 先人の功績等を分かりやすく発信し、収集意欲を喚起するカードの構成・デザインとなっているか。

(イ) チラシやポスターは、事業の概要を分かりやすく伝え、収集意欲を喚起する工夫がされているか。

(ウ) カード収集のインセンティブとして、複数のカードの収集意欲を喚起し、施設の周遊を促進する魅力的なものとなっているか。

## 4 手続等

業務の委託にあたり、企画提案参加希望者から事前に参加表明書を徴取して資格の有無を審査し、資格を有する希望者に企画提案書の提出及びヒアリングへの出席を要請する。

### (1) 担当部局

北海道総合政策部総務課（担当：高田、奥野）

〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目

電話 011-231-4111（内線 23-131）

011-204-5124（ダイヤルイン）

### (2) 参加表明書

提出期限 令和元年（2019 年）6 月 25 日（火）15：00（必着）

提出場所 4 (1) の担当部局に同じ

提出方法 持参又は郵送（書留郵便に限る。）とする。

### (3) 企画提案書

提出期限 令和元年（2019 年）7 月 10 日（水）15：00（必着）

提出場所 4 (1) の担当部局に同じ

提出方法 持参又は郵送（書留郵便に限る。）とする。

## 5 企画提案書作成上の留意事項

別添「企画提案指示書」を参照のこと。

## 6 プロポーザル審査会での受託者の決定方法

プロポーザル審査会において、企画提案者から企画内容、考え方の説明（ヒアリング）を受け、3 の企画提案の審査基準に従った配点の上、得点及び特記事項等を勘案した審査

を行い、指名選考委員会で審議の上、受託者を決定する。

なお、企画提案書の提出が多数ある場合には、審査会において、企画提案書の内容の審査及び評価を行い、当該業務の内容に適すると認められる概ね 10 程度のヒアリング審査参加者を選定する。

## 7 委託契約の方法及び根拠

### (1) 契約方法

随意契約

### (2) 契約相手方の選定

ア 本委託業務は、北海道の「先人」に着目した情報発信を行うことにより、本道の歴史や文化に対する興味・関心を高め、先人ゆかりの施設や地域への訪問意欲を喚起するものであり、その企画・実施に当たっては、高度なノウハウや専門的知識、豊富な経験に基づく判断を必要とするものである。

イ また、本業務の実施に当たっては、効果的な情報発信の方法などについて様々な手法が考えられることから、業務の最適な手法や成果の水準をあらかじめ設定することができず、契約に係る仕様を具体的に提示することは困難である。

ウ 以上から、本委託業務が最大限の成果をあげるためには、予算上限額を提示した上で、高度な専門的知識や技術等を持つ事業者の企画提案の中から、より優れたものを選定することが適当と判断されるため、公募型プロポーザル方式を採用する。

### (3) 根拠

地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号（契約の性質又は目的が競争入札に適しないもの）及び北海道財務規則運用方針第 3 節関係 1 (2)（契約の目的物が代替性のないものであるとき。）に該当し、随意契約とする。

## 8 契約書及び業務処理要領

選定された企画提案書を作成した者に対して別途作成・提示する。

## 9 契約に関する基本事項

特定者と締結する委託契約については、次の事項を基本とする。

### (1) 提案内容の修正

採択された企画提案の内容は、契約締結時に修正・変更が加えられる場合がある。

### (2) 見積書の提出

プロポーザル審査会で選定された企画提案者に対して、所定の手続を経た上で、当該業務に関する見積書の提出を依頼する。

### (3) 契約保証金

契約金額の 100 分の 10 以上とするが、免除する場合がある。

### (4) 再委託の禁止

業務の全部又は主たる部分を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。

### (5) 成果物及び構成素材に関わる知的財産権等の取扱い

成果物及び構成素材に含まれる第三者の著作権その他の権利についての交渉、処理は受託者が納品前に処理を行うこととし、その経費は委託費に含む。

なお、本業務に関する著作権（制作過程で作られた素材等の著作権も含む。）その他の権利は、全て北海道に帰属するものとする。

## 10 その他

### (1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本円

### (2) 無効となる参加表明書又は企画提案書

- ア 提出期限、提出場所、提出方法に適合しないもの。
- イ 企画提案書作成要領に指定する作成様式及び作成上の留意事項に示された条件に適合しないもの。
- ウ 記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないもの。
- エ 記載すべき事項以外の内容が記載されているもの。
- オ 虚偽の内容が記載されているもの。

### (3) 企画提案参加者及び企画提案の非選定通知

企画提案参加者として選定されなかった者及び企画提案参加者のうち企画提案内容を選定されなかった者に対して、その旨を書面により通知する。

### (4) その他

- ア 企画提案書の作成・提出に係る費用は、提出者の負担とする。
- イ 企画提案書のヒアリングに参加しなかった場合の企画提案は無効とする。
- ウ 提出された参加表明書は、企画提案参加者の選定以外に、また、企画提案書は企画提案書の選定以外には、提出者に無断で使用しない。
- エ 提出された書類は、企画提案参加者及び企画提案書の選定を行う作業に必要な範囲又は返却する場合において、複製を作成する。
- オ 提出期限以降における参加表明書及び企画提案書の差し替え及び再提出は認めない。
- カ 提出された参加表明書及び選定された企画提案書は返却しない。ただし、選定されなかった企画提案書は、企画提案書の提出時に返却を希望した者に限り返却する。
- キ 企画提案参加者として選定された者を公表できるものとする。
- ク 公正性、透明性、客観性を期するため、提出された企画提案書を公表することができるものとする。
- ケ 企画提案書作成のために発注者より受領した資料は、発注者の了解なく公表・使用することはできない。